



浜っこだより

浜 原 館
隣 保

TEL: 75-0340

令和元年10月18日発行 ☆No.7☆



人権・同和問題学習講演会

【10月4日(金)】

「明治初期における地域の差別を学ぶ～被差別部落に生きた人々を巡る時代の変化～」という演題で、講師に鍵本俊朗さんをお迎えして学習講演会を行いました。太政官通達(明治4年8月)により変化したことや被差別民の社会的地位の変化などについて、身近な地域を中心にお話していただきました。参加者からは、「学びのある研修でした」「もう一度聞きたいです」「明治のことを詳しくお話していただき、知らないことが聞けて良かったです」などの感想がありました。



シリーズ(全17回)

様々な「人権課題」を知り

「人権」についての理解を深めましょう

第15回 性自認について

性自認とは、自分の性をどのように認識しているのか、どのような自己同一性を自分の感覚として持っているかを示す概念です。「こころの性」と呼ばれることもあります。多くの方は、性自認(こころの性)と生物学的な性(からだの性)が一致していますが、この両者が一致しない人は、その違和感から、体の手術を通じて性の適合を望むことさえあります。そして、偏見の目を向けられたり、職場などで不適切な取扱いを受けたりすることがあります。心と体の性が一致しない人の割合は「左利きの人」と同じくらいです。知らぬ間に大切な人を傷つけないように、性自認を理由とする偏見や差別をなくし、正しい理解を深めることが必要です。

邑智小6年生「竹細工学習」

【9月30日(月)】

二又茂樹さん(江津市教育委員会、社会教育指導員)を講師にお迎えしました。6年生42名は、竹の性質や竹製品、竹細工の技術などを学び、竹細工製品にもふれあいました。昔の人は、身近な竹を使って生活に必要なものを作っていた、それが生活に便利な道具になっていた、作ったものを売って生活の糧にしていた、などの話も聞くことができました。



隣保館職員研修会

【10月1日(火)～2日(水)】

全国隣保館職員の中国ブロック研修会が、「地域共生社会の実現を隣保館から」をテーマとして、福山市で行われました。今後、人口が減り、働き手も減っていく一方で、高齢者の一人暮らしが増えていき、低年金者・無年金者がふえていく問題があります。身近に頼れる人がいないために孤立化してしまうなどの生活課題があり、「あらゆる人々が“地域で共に生きる社会の実現”」のために、隣保館の役割は重要であると学びました。



相談事業

人権相談、生活相談、就労相談、福祉・健康相談、教育相談など幅広く相談に応じています。

隣保館での相談内容は『外部にもれることなく、料金もかかりません』
お気軽にご相談ください。

いろは
倶楽部
11月27日(水)
10:00～14:30

脳トレ

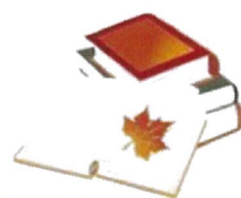
ゲーム・体操

工作・塗り絵

療育音楽

11月の予定

- 1(金) カラオケ教室
- 8(金) 古文書(初級)教室
- 12(火) おおち保育園お茶教室
楽しいちぎり絵教室
- 15(金) 民舞教室



- 18(月) 手芸教室
- 22(金) 古文書(中級)教室
- 25(月) 生花教室
- 26(火) 俳句教室(予定)
- 27(水) いろは倶楽部